



## 新部署のご紹介／サステナビリティ事業室

サステナビリティ事業室は、弊社の主力業務である漁港・港湾、海岸護岸等沿岸域のインフラ整備に関わる計画、測量、設計、施工管理、各種調査業務をベースとしつつ、地球環境と人間社会が調和した持続可能な沖縄社会の発展に資するための技術開発、普及啓発、各種支援事業を行う部署です。

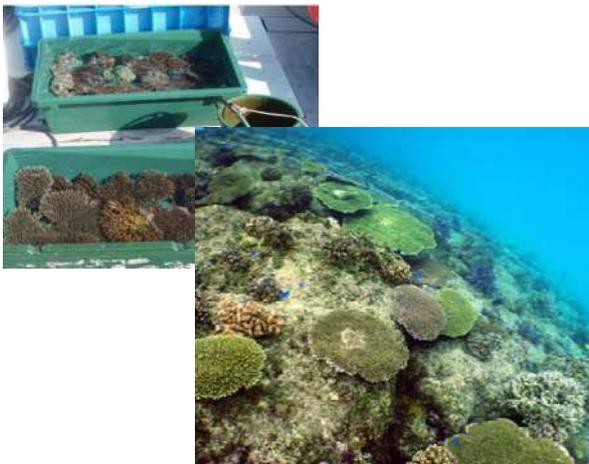
下記の例によらず、関連する環境課題、社会課題等について、お気軽にご相談ください。

※サステナビリティとは、「持続可能な」を意味する言葉です。

### 自然環境への配慮等に関する技術(例)

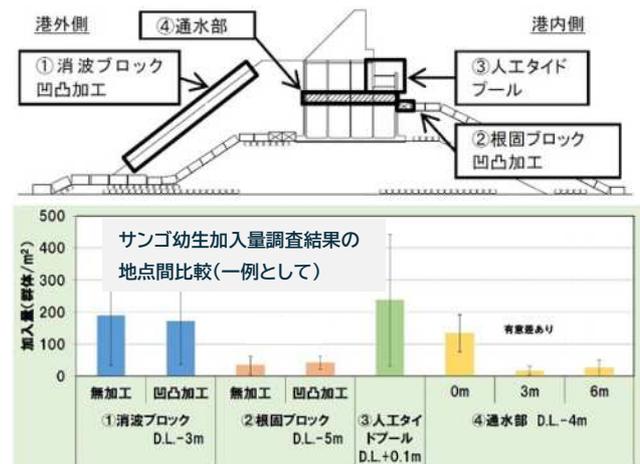
#### ●サンゴの移設

防波堤等の施設整備、埋立、浚渫によって影響を受けるサンゴの避難措置技術です。一般に事前調査、移設作業、モニタリングの手順で行います。



#### ●環境共生(水産協調)型構造物

既往の文献や現地調査結果の分析・評価によりサンゴや水産有用種等の生物の生息を促す方法を見出し、現実的な設計条件に反映させる技術です。



### 海業・6次産業等支援に関する取組(例)

#### ●水産業や海の環境に関する観光・環境教育プログラムの造成・運営

地域課題の解決に資すること、漁業者や営農者など地域の方々に適正な経済的メリットが生じること等を前提としつつ、参加者にとって特別な学びのある持続可能なプログラムやツアーを造成・運営する取組です。



裏面もご覧ください↓↓↓

## 普及啓発等支援に関する取組(例)

### ●SDGs に関する講演・勉強会

SDGs の理論に基づく基本的な事項、参加企業等の本業を活かしたビジネス創出のための講義やワークショップに関する取組です。



### ●SDGs ガイドラインによる MICE 運営支援

『沖縄 MICE 開催におけるサステナビリティガイドライン』の制作に関わった知見を活かし、同ガイドラインを用いたサステナブルな MICE 運営の支援を行っています。



#### 【出典】

- ・沖縄総合事務局, サンゴ群体の移植・移築技術を利用した港湾整備におけるサンゴ礁との共生指針, 2024.9.13 参照。
- ・那覇港湾・空港整備事務所 HP, 環境共生型防波堤へのサンゴ幼生の加入量調査, 2024.9.13 参照。
- ・SPNHC-TDWG 2024 公式 HP, 2024.9.13 参照。 ※生態系に関する学会です。
- ・沖縄ダイビングサービスラグーン公式 HP, 2024.9.13 参照。
- ・おきなわ MICE ナビ HP, 沖縄 MICE 開催におけるサステナビリティガイドライン, 2024.9.13 参照。

## 技術者の紹介

岩村 俊平(いわむら しゅんぺい)

設計部副参事 兼 サステナビリティ事業室長

#### <保有資格>

技術士(水産土木, 建設環境), 港湾海洋調査士, キャリアコンサルタント ほか

#### <経歴等>

岡山県倉敷市出身、南城市在住。大学では、環境と防災の両立を図る生態系工学の基礎を学ぶ。藻場・サンゴと共生する港湾等構造物の調査・計画、サンゴ移設等の現場実務を 19 年経験する。その後 SDGs の専門家として環境・社会・経済(観光等)を両立するサステナブルツーリズムの開発、SDGs を念頭においたビジネス創出のコンサルティング等を 5 年ほど行い、現在に至る。

#### <主な活動実績>

- ・沖縄県 SDGs 専門部会委員(R3~)
- ・沖縄 MICE ネットワークサステナビリティ部会長(R5~)
- ・沖縄工業高等専門学校非常勤講師:アントレプレナーシップ概論(R5~)

#### <自己紹介・抱負>

私は沖縄にご縁ができて 25 年、住んで 14 年目となります。海の世界、魚介類を食べることが大変好きなこともあり、20 年以上、港湾、漁港等海のフィールドに携わってきました。

これまで培った経験と技術を活かし、水産行政、港湾行政、観光関連行政の一助となるよう今後も努力して参ります。業務発注の有無によらず、お困りのことや必要資料などがありましたら、遠慮なくご相談を頂けると幸いです。

## 【お問い合わせ】

株式会社 大栄コンサルタント

〒901-2134 沖縄県浦添市字港川 412-4

TEL : 098-876-3373 / FAX : 098-875-2072

### 本資料に関する担当窓口

岩村俊平(いわむらしゅんぺい) / E-mail : iwamura@daieicon.co.jp